

報道関係各位

2021年6月17日

住友不動産株式会社
住友不動産販売株式会社

家族そろって楽しめる
『第108回サマーステップコンサート』開催しました
1,075名様を無料ご招待
「介助犬育成のための募金」を日本介助犬協会に寄託

住友不動産グループは、6月12日(土)に家族そろって楽しめるコンサート『第108回サマーステップコンサート』を東京・渋谷のオーチャードホール(Bunkamura)で開催いたしましたのでお知らせいたします。

本公演は、社会貢献活動の一環として、“芸術・文化に触れ合う機会の創出”を目的に、本格的なクラシックコンサートを誰もが一緒に楽しむことができるよう、全席無料でご招待するクラシックコンサートです。

当社グループは、今後も様々な文化・芸術活動の支援・発信を通じて、より一層、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



『第108回サマーステップコンサート』開催の様子

■開催概要

- 【公 演 名】 第108回サマーステップコンサート
- 【開 催 日 時】 2021年6月12日(土) 開演16:00、終演18:00
- 【会 場】 オーチャードホール(渋谷・Bunkamura)
- 【出 演 者】 千住 真理子(ヴァイオリン・お話)、千住 明(スペシャルゲスト)、岩村 力(指揮)
東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)、好本 恵(司会)
- 【演 奏 曲】 エルガー／行進曲「威風堂々」第1番、千住 明／スノーダイヤモンド、
ベートーヴェン／ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス 第2番 ほか
- 【招 待 者 数】 1,075名
- 【主 催 者】 住友不動産株式会社、住友不動産販売株式会社

※政府や東京都のガイドラインに基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施のうえ、50%以下の座席設定にて開催

《 ステップコンサートとは 》

住友不動産グループでは、社会貢献活動の一環として、“家族そろって楽しめるコンサート”をテーマに、1987年より「ステップコンサート」を開催しております。毎回、国内外で活躍する指揮者や演奏家、オーケストラを迎えて開催する本コンサートの招待者数は、累計で約24.6万人となり、児童福祉向上のために特に優れたコンサートであるとの評価から、1996年より「厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財」に指定されています。

また、同会場内で募金活動を実施しており、これまで「震災復興支援の義援金」や「介助犬育成のための募金」など、1995年の募金開始から、累計で1,600万円強を寄付しております。

■『介助犬育成のための募金』を日本介助犬協会に寄託

ステップコンサートでは、1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災から義援金活動を始め、2004年以降は、社会福祉活動のため「介助犬の育成」に少しでもお役に立ちたいと会場で募金を行っております。

今回も、会場にて「介助犬育成のための募金」の受付を行い、ご来場者様より合計で**157,774円**の募金が寄せられました。

ステップコンサート事務局はこのお預りした募金を6月14日、社会福祉法人 日本介助犬協会に寄託いたしました。集まった募金は介助犬の育成のために活用されます。

ご来場のお客様の温かいご協力に感謝致しますとともにご報告申し上げます。



介助犬のイメージ写真
(提供:社会福祉法人日本介助犬協会)

■公演当日の様子



千住 真理子さん(ヴァイオリン)、千住 明さん(ピアノ)のアンサンブル



司会・好本 恵さん(左)、千住 明さん(中央)、千住 真理子さん(右)のMC



来場者による指揮者体験コーナー



千住 真理子さんと東京フィルハーモニー交響楽団の圧巻の演奏

※本リリースに関する取り組みは、以下のSDGs目標に貢献しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



目標4 質の高い教育をみんなに
目標17 パートナースhipで目標を達成しよう



弊社では「よりよい社会資産を創造し、それを後世に残していく」を基本使命として掲げ、事業を通じた社会課題の解決に取り組んでおります。今後も、「環境・社会に配慮した性能」を兼ね備えた価値の高い社会資産を創造し、より一層、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

＜弊社のESG、SDGsに関する取り組み＞
<http://www.sumitomo-rd.co.jp/sustainability/>

出演者のプロフィール



© Kiyotaka Saito(SCOPE)

◆ 千住 真理子(ヴァイオリン・お話)

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。2019年はベートーヴェン生誕250周年に先駆け、ピアニストの横山幸雄と「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集」をリリース。2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」〈完全版〉を再リリース。またデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を開催。コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

ウェブサイト：<https://marikosenju.com/>



© Noboru Morikawa

◆ 千住 明(スペシャルゲスト／作曲家)

1960年東京生まれ。東京藝術大学作曲科卒業。同大学院首席修了。修了作品は史上8人目の東京藝術大学買上、同大学美術館に永久保存。代表作にピアノ協奏曲「宿命」(ドラマ「砂の器」)、「四季」、「日本交響詩」、詩篇交響曲「源氏物語」、オペラ「万葉集」「滝の白糸」等。2018年上海文化広場に於いてミュージカル「白夜行」初演、大盛況のもと中国全国ツアーを開始した。映画「黄泉がえり」「追憶」、ドラマ「ほんまもん」「風林火山」、アニメ「機動戦士Vガンダム」「鋼の錬金術師FA」、NHK「日本 映像の20世紀」、Nスペ「平成史」、NHK「ルーブル美術館」、TBS&ウィーン美術史美術館「Glorious Museum」等、多数の音楽も担当。東京藝術大学特任教授。東京音楽大学特別招聘教授。

ウェブサイト：<https://akirasenju.com/>



◆ 岩村 力(指揮)

早稲田大学理工学部電子通信学科、および桐朋学園大学演奏学科を卒業。マスタープレイヤーズ指揮者コンクール優勝のほか、数多くのコンクールに入賞。これまでハンガリー響、N響等内外のオーケストラを指揮し高い評価を得ている。また07年にはアルゲリッチの要請によりイタリア／コルティナにてパドヴァ室内管弦楽団と共演し国際的に活躍。11年以降は国内オーケストラの定期演奏会にて、日本人作曲家の作品を取り上げ、高い評価を博す。2015年、兵庫県功労者表彰(文化功労)受賞。

2000-07年NHK交響楽団アシスタントコンダクター

2010年より兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・コンダクター



(C)上野隆文

◆ 東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本最古の歴史を誇り、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK等での放送演奏など、高水準の演奏活動を展開。海外公演も積極的に行い、国内外から高い注目を集める。1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

ウェブサイト：<https://www.tpo.or.jp/>



◆ 好本 恵(司会)

元NHKアナウンサー、十文字学園女子大学教授、NHK文化センター講師。『きょうの料理』『すくすく赤ちゃん』『NHK俳壇』などを長く担当。現在はNHK番組『TVシンポジウム』などのコーディネーターの他、コンサート、式典の司会を務めることも多い。著書に『話しことばの花束』(リヨン社)『声の文化を楽しむ～朗読のすすめ』(日外アソシエーツ)などがある。